

平成 25 年度第 3 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 25 年 7 月 25 日 (木) 14 時 00 分～17 時 15 分

2. 場 所 近畿大学会館 第 3 会議室

3. 出席者 (敬称略、順不同)

大阪大学附属図書館	家住 久子
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司
京都大学附属図書館	塩野 真弓
神戸大学附属図書館	井関 泰夫
滋賀県立大学図書館情報センター	谷垣 勲
京都府立医科大学附属図書館	枚田 眞紀子
大阪工業大学図書館	田村 俊明
桃山学院大学図書館	竹島 亮輔
京都産業大学図書館	磯谷 勇太
同志社大学図書館	原 健治

4. 配付資料

資料 1 開催通知

資料 2 平成 25 年度第 2 回能力開発専門委員会議事概要 (案)

資料 3 平成 25 年度能力開発専門委員会開催日程検討資料

資料 4 平成 25 年度「中級研修」について

4-1 決算案 (決算報告、支出明細、情報交換会収支明細)

4-2 収支リスト (確定版)

4-3 アンケート結果 (Web 掲載案)

4-4 講師資料 (Web 掲載案)

4-5 受講者期間職員数 (統計データ)

4-6 各委員研修まとめ

資料 5 平成 26 年度研修事業について

5-1 近畿イニシア研修プログラム(H17-25)

資料 6 平成 25 年度第 1 回運営委員会について

6-1 提出資料

「平成 25 年度年間予定及び研修実施について」

6-2 大学図書館協力ニュース原稿

別紙 平成 25 年度大学図書館近畿イニシアティブ「中級研修」アンケート結果
コメント一覧、職員数集計

5. 議 事

1) 前回議事概要（案）の確認

了承された。

2) 平成 25 年度「中級研修」について

① 決算案について

- ・ 専門委員会の直前に内部監査を行い、枚田主査、鹿田委員が書類を確認され、決算報告書として確定された。
- ・ 塩野委員が決算報告書、支出明細、収支リスト等に基づいて説明を行った。

② アンケート集計結果について

- ・ アンケート集計（Web 掲載案）について井関委員が説明を行った。
- ・ 特に問題がなければこの案で Web 掲載版とすることになった。

③ 研修会資料の Web 掲載について

- ・ 講師資料（Web 掲載案）について谷垣委員が説明を行った。
- ・ この案で Web 掲載版とすることになった。

④ 受講機関職員数（統計データ）について

- ・ 受講機関職員数（統計データ）について田村委員が説明を行った。
- ・ 機関により職員数の捉え方にばらつきがみられるようなので、来年度の申込にあたっては、ばらつきが生じにくいやり方を考えることとなった。

⑤ 撮影資料等の講師への送付について

講師からアンケート全部と発表した成果物の写真がほしいとの希望があり、その扱いについて検討した。

アンケートの集計結果を作成するにあたって作成したエクセルファイルと成果物の写真を原委員から講師に送ることになった。

⑥ 能力開発専門委員会と近畿イニシア事務局と分担について

それぞれが何を作成するかよって分担が決まっている。

決算報告書等は、次回運営委員会前にイニシア事務局へ

同意書と整理後の写真はイニシア事務局

アンケートの原紙は能力開発専門委員会の事務局

⑦各委員研修のまとめについて

- ・各委員が提出した「まとめ」について要点と補足の説明を行った。

(主な内容)

- ・情報交換会の当日の人数の増減への対応が毎回、困難である。
- ・同意書は配付資料とともにイニシア事務局に送ること。
- ・今回は量が多かったので配付資料を印刷した方がよかったかもしれない。その場合にはスケジュールを前倒ししていかなければならないだろう。
- ・受講者からの連絡先について、当日の緊急連絡先とその他の事項の連絡先とをはっきり分るように明示するようにした方がよかった。(領収書の宛先変更の要望が緊急連絡先にかかってきて混乱があった)
- ・講師との事前打合せが出来たことはよかった。
- ・研修当日の講師との打合せの内容が他の委員全員に伝える時間的余裕がなかった。
- ・1日にすることで研修に参加しやすくなった点は、よかった。
- ・アンケートが1名分未回収になっていた。記名式に変更することを考えてもよいのでは。また、アンケート自体を後日メール等で提出する方法に変更してもよいのではないか。
- ・資料の訂正や差し替えについては、講師に予め何日前までと了解を得るなどして、今後対応を検討した方がよいかもしれない。
- ・グループワークの発表では、時間合図に手を挙げたが、卓上ベルがあったら発表者にわかりやすかった。
- ・グループワークの発表が2グループに分かれたので、片方の発表が聞けなかったことが残念だった。
- ・講師担当が途中で何度か交替することになり、講師にはご迷惑をおかけした。可能であれば講師担当は同一委員が継続できるのが望ましい。
- ・受講決定後の辞退者の名簿上の取り扱いについて混乱した。受講決定者は名簿に掲載し、当日欠席と同様に扱うこととした。
- ・講師資料の誤りの委員会による訂正の可否について相談した。今回は講師からの依頼によるもの以外は訂正せずそのままとした。
- ・各業務ごとに内容を一覧したチェックリストを作成すると漏れなく、より円滑に業務が行えるのではないだろうか。
- ・広告について提供される原本がPDF形式だったので、印刷用資料として加工するのに苦労した。
- ・プレゼンを会場の2ヶ所に分けて実施したが、声が聞き取りづらく、他方のプレゼンの声も漏れるので、この点は改善を要すると思われる。

⑧その他

- ・各自、担当分のマニュアル（一覧表、チェックリスト）を次回委員会までに作っておくこととなった。

3) 平成 26 年度研修事業について

①研修の対象について

- ・隔年で初任者研修を行っているので、平成 26 年度は初任者研修（2 日間）を行うこととなった。

②時期について

- ・6 月下旬から 7 月の間で行うことにする。

③場所について

- ・現在、運営委員会で会場についての問い合わせを行っており、その結果待ちである。

④内容について

- ・24 年度の内容を参考として、各自、全体構成（内容）とワークショップ案を可能な範囲で考えておくことになった。

4) その他

①第 1 回大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会報告

- ・7 月 1 日（月）第 1 回大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会が開催された。能力開発専門委員会からは年間予定と中級研修の概要、委員会の概要についての報告と「大学図書館協力ニュース」への近畿イニシア「中級研修」寄稿原稿の報告を行った。
- ・来年度研修会開催会場について運営委員会で問い合わせを行ってもらっている。
- ・自主財源が検討されている中で、受益者負担（研修参加者からの参加費）については、影響が大きいと思われる。

②次回委員会について

- ・次回（平成 25 年度第 4 回）委員会は、10 月 4 日（金）に京都で開催することとし、会場は後日連絡することになった。

以上